

待機児童解消アクションプラン

平成29年11月
改訂版

本市では、平成28年4月、平成31年4月までの3年間に実施する主な保育所整備等の施策を待機児童解消アクションプランとしてまとめました。これにより、約2,150人分の保育枠を確保し、保育の質を低下させることなく待機児童の解消を目指して取り組んでいます。

子ども子育て支援事業計画の中間年の見直し(平成29年11月実施)により「保育の量の見込」が増加することにあわせ、本プランで確保を目指す保育枠を増やします。なお、確保方策の決定については、将来的な保育の量の推移等も勘案し、より慎重に検討していきます。

《3種の方策と確保見込》

【A 保育の受け皿の拡大】

Aによる確保見込→1,698名

【B 認定こども園移行促進、その他】

Bによる確保見込→507名

【C 保育人材確保】

緊急に実施した方策 [平成28年(2016年)10月までに]	中期的な方策① [平成30年(2018年)4月までに]	中期的な方策② [平成31年(2019年)4月までに]
A 私立保育所増築による定員増(40名)	A 南千里庁舎敷地の一部を活用した私立保育所の創設(120名)	A 南千里市民プール跡地の一部を活用した私立保育所の創設(120名※1)
A 民間事業者による小規模保育事業所の設置(164名)	A 千里山虹が丘の再整備に伴う私立保育所の創設(102名)	A 山田西2丁目における私立保育所の創設(60名)
C 私立保育所等の保育士確保に係る支援	A 千里山竹園における私立保育所の創設(60名)	A 私立保育所の増改築等による定員増(20名)
C ハローワーク等とのタイアップによる保育士確保	A 民間事業者による小規模保育事業所の設置(88名)	B 私立幼稚園の認定こども園化(60名)
	B 認定こども園岸部第一・豊津第一・千里第二・山田第一・山田第三幼稚園の設置(225名)	A 小規模保育事業所の設置(72名)※4
	B 私立幼稚園の長時間預かり充実に向けた市独自の支援策実施(約132名)※2	A 旧いずみ母子ホーム活用によるいずみ保育園敷地内への小規模保育事業所の開設(19名)※5 New
	C 私立保育所等の保育士定着を図る支援策拡充※2	A 不足地域における保育所等の創設(540名)※6 New
	※1 高野台小学校敷地内保育施設は、3歳以上児を対象とする期間限定施設ですが、南千里市民プール跡地の一部を活用した私立保育所に接続させる計画があるため、現在、認可保育所として運営しています。そのため保育の確保数は、両施設あわせて120名とします。	※4 既に採択を終えた小規模保育事業所等の設置予定から定員数を見込んでいます。
	※2 平成29年度からの取組による効果は、平成30年度から現れます。	※5 いずみ保育園の定員を増やす手法として、小規模保育事業所を開設します。
	※3 拡充する支援策は、保育士宿舎借上支援事業の年限延長とフリー保育士の2人目に対する助成の増額です。	※6 状況により、小規模保育事業所等による整備を検討する場合があります。
短期的な方策 [平成29年(2017年)4月までに]		
A 高野台小学校敷地内保育施設の創設(60名※1)		
A 青葉丘北・江坂町5丁目での私立保育所の創設(140名)		
A 民間事業者による小規模保育事業所の設置(153名)		
B 認定こども園吹田第一・吹田南幼稚園の設置(90名)		
B 私立幼稚園の長時間預かり充実に向けた市独自の支援策創設[平成29年度予算]※2		
C 私立保育所等の保育士定着を図る支援策拡充[平成29年度予算]※2 ※3		
平成29年4月までに約647名分確保 済み	平成30年4月までに約727名分確保	平成31年4月までに約831名分確保
平成31年4月までに合計で約2,205名分確保		